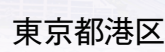
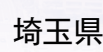
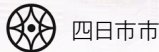


# 自治体専用ChatGPT

安心のセキュリティと信頼のサポートで行政・自治体の業務効率化を支援



※デロイト トーマツ ミック経済研究所「法人向け生成AI導入ソリューションサービス市場動向 2024年度版」



※検証中

## 導入事例 ～50以上の自治体が利用中～

### 埼玉県（利用人数：全職員）

#### 利用方法

- アイデア出し
- 議会議事録からの関連情報抽出
- 要約
- 翻訳
- 校正
- データ分析

### 四日市市（利用人数：650名）

#### 利用方法

- 議会議事録からの関連情報抽出
- 企画やデザインのアイデア出し
- メリット・デメリットの整理
- 引き継ぎ後の問合せ対応の参照
- エクセルマクロの作成
- 文書の作成・校正

### 倉敷市（利用人数：全職員）

#### 利用方法

- 文書の校正
- 文書の要約
- 挨拶文作成
- アイデア出し
- プログラミングコード作成

### 淡路市（利用人数：全職員）

#### 利用方法

- アイデア出し
- 議会答弁作成
- 要約
- 翻訳
- 校正

## exaBase 生成AI for 自治体が選ばれる理由

### LGWANに対応。万全なセキュリティ対策

行政専用ネットワークのLGWAN環境でご利用いただけます。入力内容がAIの学習データに利用されることはなく、データ処理も国内で完結するため、機密情報の多い行政機関でも安心してご利用いただけます。

### 多くの実用化実績。高精度RAGで庁内データ連携

庁内データを連携（RAG）し、データを基にした生成が可能です。例えば、過去の議会議事録や調達仕様書などを取り込み、要点抽出や文書生成をすることができます。庁内規則やマニュアルを取り込めば、問い合わせ対応の自動化も可能です。

### 行政×AIのプロによる充実のサポート

行政機関への業務支援やAIの利活用において豊富な実績を持つスタッフが、生成AIの導入、活用、定着化を支援します。問い合わせ対応のほか、行政機関専用のプロンプトテンプレートの提供、各種研修サービス、アカウント管理代行などを行います。

### 定額プランだから安心してつかえる

同時アクセス数の上限に応じた定額制の料金プランです。ユーザーの登録数に制限はなく、組織全体で生成AIを利用することが可能です。詳しい料金プランは、下記よりお問い合わせください。



## exaBase 生成AIの導入で行政文書の要約や 文書校正など、職員の業務負担を大きく軽減

### — 具体的にどのような課題を想定していましたか？

**赤澤氏** まずはメール作成です。兵庫県では、対外的なメールの作成に時間がかかっていました。不適切な文面に対応したら県民の方に迷惑がかかることになります。個人ではなく公人として、発言や行動をしなければなりません。例えばデリケートな内容のメールを送る際には、上司と何回もやりとりして文面を精査した上で送信しています。

また、キャッチコピーの作成にも時間を要していました。兵庫県では県民の方々が集まるイベントを行うことも多いのですが、イベントの際にはキャッチーな副題を付けることが求められることがよくあります。従来はコピーを決めるために職員が4人くらい集まってミーティングをしていました。

**村瀬氏** 他には、Excelを十分に使いこなせる職員が限られていたことが課題でした。行政の仕事は事務が多いので、歴代の担当者から引き継がれているExcelファイルを使うことが多いです。関数の知識が不足している職員だと、何がどんな仕組みで動いているのかを解説するのに時間がかかっていました。

**赤澤氏** あとは、国からの行政文書の理解にも時間がかかっていました。県庁なので、国のルールが変わったり法改正があったりすると、ガイドラインなどの大量の文書が国から届きます。行政文書にはバツと読んだだけでは理解しづらいものも多いんです。しかも、その文書は県庁内や市区町村で展開しなければなりません。ただ文書を展開するだけならいいですが、必ず質問がきます。ですから、担当者は自分で読み込んで理解した上で展開しなければならないんです。



ChatGPT 等生成AI活用検討プロジェクトチーム ChatGPT活用研修風景  
出典：R050605研修会概要 <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk26/johousei-saku/documents/20230605kensyugaiyou.pdf>



### — 「exaBase 生成AI」の導入後、どのような効果がありましたか？

**村瀬氏** 業務のクオリティが上がりました。利用者からは、業務プロセスの一部を生成AIが代替してくれることで、考える時間が増えたという声や、小さなミスが減ったという声が聞こえてきています。県民の皆さんの声を聴くために外出するための時間も捻出しやすくなっています。

**赤澤氏** 業務負担が軽くなっているのは感じます。課題として挙げたメール作成についても、従来は上司との精査のために何度もやり取りをしていましたが、導入によって文面チェックを自動化することができています。

同様に、キャッチコピーの作成についても大幅に時間が短縮されました。従来はコピーを決めるために職員が4人くらい集まってミーティングをしていましたが、生成AIを使ったことで、瞬時に、しかも複数案のキャッチコピー案を出してくれます。職員も1人で済むようになりました。「キャッチコピーといえばexaBase 生成AI」と言われるくらい助かっていますね。

### — 「exaBase 生成AI」のどのような点をご評価いただきましたか？

**赤澤氏** 「exaBase 生成AI」は、フラットに見て他システムの中で最も優位性がありました。価格も含めて、手軽に使える点が魅力ですね。管理機能も充実しています。exaBase 生成AIでは、利用者が入力したプロンプト（生成AIへの入力文）内容をCSV形式でファイル出力ができるので、プロジェクトの成果を取りまとめる段階になったとき、それまでの内容をファイルに出力し、有用なものをピックアップしてプロンプト集を作りました。実務で利用できるものにしたかったので、このプロンプトの出力機能がとても役に立ちました。

**村瀬氏** 操作画面はシンプルで、説明書などを見なくても直感的に操作をしやすいと感じます。ChatGPTのモデルのGPT-3.5とGPT-4がすぐに切り替えられるのも便利です。

**赤澤氏** OpenAIが提供しているChatGPTのGPT-4を使うとなると毎月20ドルほどかかります。しかもクレジットカード決済しかできないので、行政では現実的ではありません。おそらく行政では、OpenAIと直接契約するのは不可能だと思います。その点「exaBase 生成AI」は支払い方法も柔軟で、契約がしやすいというメリットがありました。

## 兵庫県生成AI活用アドバイザーが解説！ 自治体での生成AI活用事例5選

兵庫県や四日市市をはじめとする生成AIを積極的に活用している5つの自治体の事例（導入や活用方法、定着化施策等）を解説

### < 内容 >

- ・5つの自治体での生成AI活用事例
- ・自治体での生成AI導入・活用を成功させる秘訣

### 開催時期

2024年 12月 23日 (月) 12:00~13:00  
2025年 1月 10日 (金) 15:00~16:00

※両日程とも同内容です

### 形式

無料・オンライン (Zoom)

### 申し込み

<https://x.gd/cpioY>



EXA ENTERPRISE AI

兵庫県 生成AI活用アドバイザー が解説

自治体での生成AI事例 5選

12.23 Mon 12:00-13:00  
01.10 Fri 15:00-16:00

株式会社エクサウィザーズ 常務取締役  
株式会社Exa Enterprise AI 代表取締役  
兵庫県 生成AI活用アドバイザー  
大橋 真真